



のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくりを

しあわせクラブだより



第92号

令和2年1月発行

発行 厚木市しあわせクラブ連合会(厚木市老人クラブ連合会)
厚木市中町1-1-3 ☎046-225-2250
E-mail: a2250@iaa.itkeeper.ne.jp

編集 広報委員会
制作・印刷 株式会社ニチコミ ☎03-5718-3900
http://www.nichicomi.com/

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、「令和」での新年を、健やかに迎えたいこととお喜び申し上げます。貴クラブの皆様には、日頃から生きがいづくりや社会奉仕など、地域への貢献活動をいただいております。心から感謝を申し上げます。日本は、世界トップクラスの長

寿国となり、超高齢社会へと進んでいます。ただ「長寿」を目指すのではなく、できるだけ自立して、住み慣れた地域において、何歳になっても自分らしくいきいきと暮らし、活動的であることが重要です。そうした中、貴クラブの活動は、地域社会における居場所づくり

や交流の場としての重要な役割を担っていただいております。引き続き、本市が目指す「生涯現役健康都市」の実現に向け、皆様のお力添えをお願いいたします。本市では、これからも皆様がいきいきと元気に過ごすごう、「健康食育あつぎプラン」に位置付けた施策に全力で取り組んでまいります。結びに、この一年が皆様にとって良き年でありますことを祈念いたします。新年のごあいさつといたします。



健康進める新しい年に

厚木市長 小林 常良

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は元号が変わり、新天皇が即位され、新しい時代の幕が開きました。そして諸外国の元首が数多く来日して祝辞を頂いたことは、日本が安心・安全を大事にする平和国家と認識しているのでしょうか。本年はオリンピックイヤーで、昨年から盛り上がっています。さて、私たちを取り巻く環境は

高齢化が進行する中で組織としてどうあるべきか、個人として目標はどこにあるのか。厚木市では、セーフコミュニティという世界的な活動に取り組んでいます。この運動は「自分達の暮らしは自分達で守る」というコンセプトで、市内のほとんどの組織がジャンル別に委員会を検討し、市政に反映するという運動です。厚木市の住環境について、市外の人の評価は、学校、病院、量販店と、自然環境も含めて良好です。

私はもう一つ、人間関係が良いと付け加えたい。市民憲章に「互いに敬い、愛しあい、善意に満ちた家庭とまちを作りましょう」とあります。高齢者の目標として頑張りたいです。



新年に飛躍を誓う

厚木市しあわせクラブ連合会 会長 小松 紀久男



「新春の富士」 撮影：七沢第2しあわせクラブ 小瀬村 幸男さん

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします

- 会長 小松紀久男(睦合南)
- 副会長 大塚 清一(依知北)
- 副会長 荻山 清治(玉川)
- 理事 鈴木 規司(厚木北)
- 理事 浅岡 隆雄(厚木南)
- 理事 座間 清二(依知南)
- 理事 小栗 悠嗣(睦合北)
- 理事 本間 満志(睦合西)
- 理事 木村 靖之(荻野)
- 理事 伊藤 桂(小鮎)
- 理事 柏岡 明(南毛利)
- 理事 飯島 重昭(南毛利南)
- 理事 西岡 隆寛(森の里)
- 理事 大貫 隆広(相川)
- 理事 大塚 文雄(緑ヶ丘)
- 理事 山崎喜代子(女性部会)
- 理事 石本 重敏(趣味)
- 監事 遠藤 美行(小鮎)
- 監事 川崎 昭男(南毛利)

※敬称略

令和元年度厚木市老人クラブ連合会会長表彰 受賞者一覧

【表彰式：10月2日(水) 厚木市しあわせクラブ連合会大会】(敬称略・順不同)

1 市老連趣味グループ(再表彰)

設立後5年以上経過し、表彰を受けた市老連趣味グループで引き続き8年以上の長期にわたりその運営が良く、活動が活発で他の模範と認められるもの。

No.	区分	クラブ名	代表者名
1	趣味	陶芸愛好会	三平 隆

2 単位老人クラブ(会員増加)

年間を通じて会員増強活動に努め、会員数の増加が顕著である単位老人クラブ。

No.	区分	クラブ名	代表者名
1	厚木南	旭町第3老人クラブ	山崎 イヨ子
2	睦合北	根岸シルバークラブ	小栗 悠嗣
3	荻野	互朗会	花上 貞夫
4	荻野	上荻野むつみ会	角田 進
5	荻野	鷲尾三丁目三友会	平戸 卓
6	荻野	新宿寿会	塩沢 節子
7	南毛利	毛利台親和会	川崎 昭男
8	南毛利	長谷長寿会	菊地 洋一
9	南毛利南	上愛甲愛寿会	飯島 重昭
10	南毛利南	宮前クラブ	内井 嘉巳

3 単位老人クラブ会長

単位老人クラブ会長として6年以上在職し、そのクラブの育成に努力し、その功績が顕著である者。

No.	区分	氏名	クラブ名
1	厚木北	大川 弘	天寿会
2	荻野	高足 貞治	下荻野寿会
3	南毛利南	後藤 良昭	船子きずなクラブ
4	南毛利南	石井 誠吾	坊中睦会
5	玉川	田澤 和夫	七沢第2しあわせクラブ
6	相川	大貫 隆広	上戸田老友会

4 単位老人クラブ役員、市老連趣味グループ役員

単位老人クラブ役員、市老連趣味グループ役員としてとして8年以上在職し、そのクラブの育成に努力し、その功績が顕著である者。

No.	区分	氏名	クラブ名等	No.	区分	氏名	クラブ名等
1	厚木北	会田 千鶴	大手北寿和会	31	南毛利	古賀 和子	上温水楽友会
2	厚木北	下手 鈴子	西仲福寿会	32	南毛利	安藤 洋子	毛利台親和会
3	厚木北	黒石 澄枝	西仲福寿会	33	南毛利	越沼 英昭	毛利台親和会
4	厚木北	指旗 サト	元町福寿会	34	南毛利	川瀬 静男	毛利台親和会
5	厚木北	石井 彰代	元町福寿会	35	南毛利南	多田 豊	船子きずなクラブ
6	厚木北	清水 敬博	天寿会	36	南毛利南	千葉 セツ	片平睦会
7	厚木北	坂本 照子	仲北銀友会	37	南毛利南	島 由起子	宮前クラブ
8	依知北	中丸 修子	山際白寿会	38	南毛利南	細谷 シズ江	宮前クラブ
9	睦合南	近藤 多智子	ゆめクラブ妻田東	39	南毛利南	戸波 美津子	宮前クラブ
10	睦合南	渡辺 英二	ゆめクラブ妻田東	40	南毛利南	福永 リツ子	宮前クラブ
11	睦合南	曾我 智明	ゆめクラブ妻田東	41	玉川	伊東 操	小野しあわせクラブ
12	睦合南	川井 隆男	木売場かがやきクラブ	42	森の里	西岡 隆寛	森の里長寿会
13	睦合西	草柳 利雄	及川老成会	43	相川	内海 美代	相川西部老友会
14	睦合西	斎藤 役郎	及川老成会	44	相川	森屋 昇	相川西部老友会
15	睦合西	小西 教治	及川老成会	45	相川	小菅 利雄	上戸田老友会
16	荻野	田口 三好	宮本第二寿会	46	相川	池谷 八重子	酒井老友会
17	荻野	大井 まこと	とびお笑和会	47	相川	木村 道子	酒井老友会
18	荻野	藤田 実	互朗会	48	趣味	秋山 登代子	陶芸愛好会(毛利台親和会)
19	荻野	今鉾 恒雄	互朗会	49	趣味	小林 光子	アカシヤコーラス(西仲福寿会)
20	荻野	土屋 昇	互朗会				
21	荻野	石原 達之	互朗会				
22	小 鮎	永島 恒子	千歳会				
23	小 鮎	臼井 ノブ	千歳会				
24	小 鮎	池亀 光男	南部幸寿会				
25	小 鮎	高橋 範繁	日枝老人クラブ				
26	南毛利	青木 良雄	愛名九十九会				
27	南毛利	山口 太志	愛名九十九会				
28	南毛利	岩澤 玉江	温水白寿会				
29	南毛利	吉岡 孝三	温水白寿会				
30	南毛利	柏岡 キヨ	上温水楽友会				



栄えある表彰おめでとうございます!

令和元年度 高齢者福祉関係功労者等表彰受賞者一覧 (敬称略)

公益財団法人全国老人クラブ連合会会長表彰

【表彰式：11月27日(水) 第48回全国老人クラブ大会】

◆優良老人クラブ表彰(県老連推薦)

クラブ名	代表者名
上荻野むつみ会	角田 進

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会理事長表彰

【表彰式：11月15日(金) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどい】

◆単位老人クラブ会長表彰

単位クラブ会長として7年以上在職し、老人クラブの育成、指導に努力した者

地区	氏名	クラブ名
厚木南	浅岡 隆雄	旭町1丁目老人会
厚木南	高木 妙子	泉なごみクラブ
荻野	長谷川 美雪	宮本第一寿会

厚木市長表彰

【表彰式：11月9日(土) 第50回厚木市社会福祉大会】

◆単位老人クラブ表彰

地区	クラブ名	代表者名
厚木北	天寿会	大川 弘
南毛利南	坊中老寿会	関口 一男
相川	相生老友会	小代 基秀

◆単位老人クラブ会長表彰

地区	氏名	クラブ名
南毛利南	関口 一男	坊中老寿会

社会福祉法人厚木市社会福祉協議会会長表彰

【表彰式：11月9日(土) 第50回厚木市社会福祉大会】

◆単位老人クラブ表彰

地区	クラブ名	代表者名
厚木北	吾妻あおぞら会	青柳 弘子
依知北	上依知若葉会	梅津 達幸

◆単位老人クラブ会長表彰

地区	氏名	クラブ名
睦合南	柳田 博司	妻田長寿会
睦合南	福丸 孝司	木売場かがやきクラブ
南毛利	柏岡 明	上温水楽友会
南毛利南	佐藤 之則	宿愛甲寿会



十二男の遠き思い出

森の里長寿会 安味 貞正

会津藩士末裔の父は、明治38年に19歳で国鉄に入り、函館本線の駅夫から叩き上げ、名寄駅長を最後に昭和8年、31年間の鉄道生活を終えた。

私は昭和9年に12男として函館に生まれ、3歳の時に一家で札幌に転居した。当時は国威高揚・富国強兵が叫ばれ、男子12人の我が家は国から表彰された。

昭和16年4月、私は国民学校(今の小学校)に入学したが、12月8日に運命の太平洋戦争が勃発。上から8人の兄達が軍人・軍属として国内外に派遣され、中でも10代の2人は特攻隊員となった。中学生の9兄以下、私達4人は、両親とともに銃後を守った。しかし超大国相手の長期戦に耐えられず、戦況はますます劣化し、本土空襲に続く広島・長崎原爆投下で完膚なきまでに打ちのめされ、20年8月、連合軍に無条件降伏した。戦後の窮乏は筆舌に尽くしがたいが、暴動や内乱もなく粛々と戦後処理に対応した。

我が国がこの戦争で多数の死者を出した中、我が8人の兄達は全員生還した。しかし皆放心状態であった。強健そうだった母は22年に脳いつ血で倒れ、56歳で逝った。

戦後最大の变革は「絶対君主国家」から「民主国家」への転換である。これが大変な難事業で、制度を変えても精神が伴うのか、70年後の現在は「真の民主国家」なのか？

さて私事に話を戻し、我が兄弟は全員妻にも子宝にも恵まれたが、子どもの数は平均3人で、逆立ちしても到底両親にはおよばなかった。その兄弟も6兄までは他界し、7兄(95歳)以下6人は存命なり。



12男の私は母のひざの上 右端は叔父(昭和11年)

父の晩年、母の晩年

鳶尾いきいき会 会長 並木 孝信

東京の下町がアメリカの重爆機B29334機による、じゅうたん爆撃で火の海と化した昭和20年3月10日、父と母は私達8人の子を

短歌と私

七沢第三しあわせクラブ 荻山 清治

★短歌を作るきっかけ

読売新聞相模版の土曜日、「よみうり文芸」欄に興味を持つようになったのは、今から十数年前でした。作品と選者の批評を読みながら、「自分も短歌を作ってみないな」と漠然と思っていました。そんな時期が数年経ったでしょうか、「自分も短歌欄に投稿してみよう」という気持ちが湧いてきました。

それから1カ月に2〜3首程度投稿するようになりました。投稿を始めて3年経ちましたが、文芸欄には何の変化もありませんでした。

★日々の積み重ねが開花？

夏のある土曜日、何気なく「ぶんげい」欄を見ていると、私の名前が目に入りました。正しく私が投稿した短歌でした。

◇真夏日の木陰に並べた野菜売り 麦わら帽子が老婆に似合う

平成25年8月24日発行の新聞でした。少し大げさですが、これまでの努力や苦勞が報われたのかな？ そんな風に思いました。

◇耳鳴りに虫の鳴き声混じり合い 秋の夜長に寝返りを打つ
◇オーロラを見るより先にカメラをと 構え直せば三脚震う

◇この部屋で鬼ごっこした外孫が 鴨居の下を首曲げて入る
◇綺麗だったあの人遠くのバス停で 杖を片手に佇みて居り

投稿を始めてから9年間で5首の掲載をしていただきました。

★短歌をライフワークとして

短歌は五七五七七の音で作るといふ決まった形式を持つており、そこに抒情を表現することは難しいことではありますが、苦勞して五七五七七に収まってこそ、旋律の良い作品になるものです。

これからも日々の抒情を五七五七七の中にしたためていきたいと思っています。



構えたカメラに映るオーロラ

三二通信

*新年を迎え令和初の書き初め

令和新春——森の里長寿会の書道教室（西岡美子さん指導）での書き初め。ほとんどが子ども。会員8人、大正生まれ2人を含めて昨年暮れから熱心に練習。筆使いも見事。

学者の説では、令和はうるわしい調和のある年号とか。この書き初めは公民館、地元の郵便局、お年寄りのたまり場「ぐるつと広場」に貼るそう。

しあわせクラブだよりの川柳に「書きなれた何時もどりに平成と」が、新年を迎え、令和が定着。良い年に。

(森の里長寿会 和田野哲也)



80代の手習い 令和の書き初め

しあわせひろば

俳句

初景色松寿の年や笑顔あり

松枝松寿会 綿貫 良男

濃き襷の威容円沢初日影

ひばり賢人会 大和 昭一

秋茄子の色よく糠に漬かりけり

上依知若葉会 山田 弘子

百段を登りて一息初詣

妻田長寿会 丑村スミエ

夕映えに風を集めてすすき原

田園ひなし会 長友 利雄

糸巻の糸口さがす秋の夜

田園ひなし会 長友千代子

柿一つ残した枝に猿親子

宮本第一寿会 長谷川美雪

尼寺の淡き花びら冬桜

互朗会 伊藤 民子

寒月の光散らばる江戸切子

互朗会 鴨下 沙知

静寂の古刹に匂う寒椿

互朗会 花上 貞夫

言い出せぬ言葉のありて蜜柑むく

互朗会 本間 登茂

まっさらな空が一枚冬木立

互朗会 花上 尚江

潮風に負けじと水仙香り立つ

互朗会 土屋 和子

一枚を開きて果つる冬薔薇

互朗会 守屋 絹子

一舟もなき残照の冬の河

互朗会 鈴木美恵子

よい日照りふとんたたきなごやかさ

戸室長寿会 小林 政子

競技後の話題ふつつつ七日粥

恩名しあわせクラブ福寿会 原 スミ子

令和にて地位をわすれて身をすてる

長谷長寿会 大山 瑞枝

枯れすすき小川にそつと映りけり

愛名九十九会 青木みよ子

さつま芋箸にためされ蒸しあがる

愛名九十九会 佐藤 三郎

金木屋小さき花びら音もなく

愛名九十九会 山崎ナミ子

ざる菊やまあるく丸く朝の市

愛名九十九会 林 きる子

令和だな古き友達宝物

七沢第一しあわせクラブ 前場 一夫

骨正月小屋に持ち寄る大吟醸

七沢第三しあわせクラブ 岩淵 義行

孫去りて静寂身に沁む松の内

森の里長寿会 佐久間道夫

陽溜りて甲羅干しする池の亀

相生老友会 朝倉 勝久

短歌

退位の礼平成令和に新たなる

民によりそう希望のことば

上依知若葉会 永瀬 マサ

鶴でなくお豚ちゃんちの一声で
五輪マラソン札幌へ行く
妻田中央長寿会 神吉 善茂

辛き時は泣いていいよ言ひ呉るる
肩に置きたる友の掌温し
長谷長寿会 松下 絹枝

夜を徹して吾が縫ひたるを母は着て
嬉しうれしと旅に立ちたり
上温水楽友会 中村 博子

畦道で摘みしレンゲの首飾り
「きれい」と孫に手を叩き遣る
七沢第二しあわせクラブ 青木 正次

氷上を飛び舞う羽生の心意気
若きエースは日本の誇り
七沢第三しあわせクラブ 荻山 清治

めぐりきて我手まくらに寝る子犬
幼き児らの姿に重ねる
森の里長寿会 津田 史子

川柳

れいわとは例外ない輪ワンチーム

元町福寿会 高橋 清健

百年に一度の水害想定外では済まされぬ

妻田中央長寿会 大久保寿男

初孫が鳴る留守電に家は留守

宿愛甲寿会 佐藤 之則

平安の絵巻物見てる即位の儀

岡津古久しあわせクラブ 山室 正

風雨難科学の粋で今年こそ

森の里長寿会 和田野哲也

祝福の声と涙と万歳と

森の里長寿会 三ツ橋久子

編集後記

明けましておめでとうござい
ます。
今年本格格的な「令和」の幕開
けとも言えますが、天皇家の数々
の行事も無事に終わられ、日本に
とつても我々にも清々しい新春を
迎えられると思います。

一年の計は元旦にありと言いま
すが、皆様にとつても、この地に
とつても、日本に、さらに世界に
とつても平和で素晴らしい年にな
りますよう、祈らずにはいられま
せん。
(広報委員会)

皆さんの原稿を募集します！

- 【特集】「私のつぶやき」400字以内
- 【一般投稿文】600字以内
- 【俳句・川柳や短歌】1人1句・1首で
- 【三二通信】身近な話など150字程度

原稿には「住所、氏名、クラブ名、電話番号、年齢」を明記し、難読語句にはフリガナをつけてください。紙面の都合により一部削除、加筆、あるいは保留する場合があります。採用の可否は広報委員会に一任ください。なお、原稿の返却は行いませんので、ご了承願います。(締切2/1) ★次回発行は4月です

あて先 問合せ

〒243-0018 厚木市中町 1-1-3 厚木シティ
プラザ 5F 老人福祉センター寿荘内
厚木市老人クラブ連合会まで
TEL.225-2250 FAX. 223-9950

